

令和4年度 第1回石狩市健康づくり推進協議会
令和5年3月24日(金) 18時30分～
石狩市役所 5階 第1委員会室

令和4年度 第1回石狩市健康づくり推進協議会 会議録

日時 令和5年3月24日(金) 18時30分～19時30分
場所 石狩市役所 5階 第1委員会室
出席者 八島絵美会長、中川賀副副委員長、江頭 裕二委員、松永雅和委員、澤田茂明委員、
西野典男委員、仲尾悦子委員、金木渉委員、向田久美委員、戎屋孝一委員、中村枝美子
委員
事務局 健康推進担当部長 上田均
保健推進課長 富木浩司、国民健康保険課長 新関正典、スポーツ健康課長 松永実、
保健推進課主査 廣瀬芳江、竹瀬麻紀、田中昌子、保健推進課主任 小松平嵩
欠席者 森昭久委員、西山繁治委員、阿部侃委員
傍聴者 なし

次 第

- 1 開 会
- 2 会長及び副会長の選任について
- 3 会長挨拶
- 4 議 題
 - (1) 各種事業の取り組み実績について (資料1)
 - (2) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価及び第3次計画策定について (資料2・資料3)
 - (3) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価に係るアンケート調査について (資料4)
- 5 その他
- 6 閉 会

=====協議内容の記録(協議経過、質疑、意見等)=====

※ 以下の質疑・意見については、○委員発言要旨、●事務局発言要旨

1 開会

2. 会長及び副会長の選任について

協議会設置要綱第5条第2項に基づき、委員の互選により会長及び副会長を選出する旨を事務局より説明。委員から事務局に一任され、会長を学識経験者の八島様に、副会長を同じく学識経験者の中川様に事務局案として提示。委員から異議がなく、会長と副会長を事務局案のとおり選任。

3. 会長挨拶

当協議会は、石狩市民の生涯にわたる健康づくりの推進にあたり、委員皆さんの知識や経験を踏まえ、忌憚のないご意見をいただく場となっておりますので、委員の皆様方におかれましては、どうぞよろしくお願いいたします。

4. 議題

(1) 各種事業の取り組み実績について (※事務局より説明)

●(廣瀬主査)令和2年度から今年度までの健康づくりに関する各種事業の取り組み状況について、(資料1)に沿って説明。

【質疑や意見】

なし。

(2) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価及び第3次計画策定について (※事務局より説明)

●(廣瀬主査)健康づくり計画の第2次最終評価及び第3次計画の策定スケジュール案を(資料2)に沿って説明。現在の2次計画の最終評価として市民アンケートを5月ごろに実施し、8月ごろまで集計と分析を行う。次に庁外の関係者や庁内の関係課へ意見聴取を行う。これらと並行して、7月から10月上旬ごろまで2次計画の最終評価のまとめや次期3次計画の素案作りの作業を行う。

10月下旬ごろに令和5年度の第1回協議会を開催し、2次計画の最終評価と3次計画の素案を協議して出た意見をもとに最終評価案及び計画案などを修正。11月末ごろに書面にて協議会委員に示して意見を聴取。素案の修正を重ねた後に12月ごろにパブリックコメントを実施。令和6年3月に第2回の協議会を開催し、パブリックコメントの意見を反映して修正した2次計画の最終評価案と3次計画の最終案を協議。

第3次の健康づくり計画策定に係る基本的な事項案について(資料3)に沿って説明。「計画の位置づけ」については、現在の2次計画と同様に第5期石狩市総合計画を上位計画とし、保健分野の個別計画として位置づける。他の関連計画との調和を図り、健康増進法第8条第2項の規定に基づく、市町村健康増進計画として策定。計画の策定にあたっては、同法第7条の基本方針を十分に勘案し、市民の健康増進の推進に関する施策についての計画とする。

各種計画との関係については、第5期石狩市総合計画を上位計画とし、国が策定している「健康日本21」や北海道が策定している「すこやか北海道21」との整合性を図る。また、市が策定している関連する分野別の個別計画と調和を図りながら、健康づくり計画を策定。「計画の期間」は、国の計画である「健康日本21」が、令和6年から令和17年までの12年間の計画となることから、市の計画も同様に12年間の計画で策定。

「計画の評価手法」については、2次計画では、市民に「健康意識に関するアンケート」を行い、最終評価を実施するが、次期3次計画においては、アンケートによる評価方法は用いず、保健活動から把握できるデータを活用。

【質疑や意見】

なし。

(3) 石狩市健康づくり計画(第2次)の最終評価に係るアンケート調査について (※事務局より説明)

●(廣瀬主査)第2次計画の目標値が達成できているかを評価するための調査。20歳から69歳までの市民の中から、2,000人を無作為抽出して送付。回収方法は、前は、返信用封筒を用いて郵送による回収だったが、デジタルを活用することが全市的な取り組みとなっていることから、スマートフォンやパソコンから回答用のフォームにアクセスして回答する方法に変更。

令和4年度 第1回石狩市健康づくり推進協議会

令和5年3月24日(金) 18時30分～

石狩市役所 5階 第1委員会室

年齢の高い方からの回答率が低くなる可能性があることから、無作為抽出の送付に加えて、健康診査やコロナワクチンの集団接種会場でアンケートを取ることも検討。アンケートの内容については、中間評価で実施した内容と変更はない。

【質疑や意見】

○(西野委員) 問8の「運動習慣がありますか」、問9の「歩くことを心がけていますか」という設問は、漠然としていると感じた。厚生労働省の身体活動運動で示されている運動習慣者とは、「週2回、1回30分以上を1年続けている」と規定されている。「週2回以上、1回30分以上を1年続けている」方であればそれを選択できるが、「条件は満たされないが運動している」というのはどういう状態なのか幅が広いと感じた。同様に歩くように心がけているかは、個人によって非常に差がある。また、厚生労働省の目標であるが、男性なら1日に9,200歩、女性なら8,300歩という目標があるので、それに達しているかという観点で尋ねるとより分かりやすいと思う。このアンケートの使い方についてと、今の提案を上手く組み合わせるとより具体的になるのではないか。

●(廣瀬主査) 前回のアンケートから設問を変更すると比較ができなくなるため、今のご意見は第3次の計画策定の際に役立てさせていただきたい。

○(戎屋委員) 調査の対象は、20歳から69歳までとなっていますが、これは、国との調整とか事情があつてのことか。高齢者、後期高齢者も例えば設問の8, 9, 10などは高齢者にも当てはまり、結構、高齢者は高齢者なりのデータを現役の世代よりも把握しているのではないかと実感している。

●(廣瀬主査) この計画は、壮年期にターゲットを当てた計画としている。高齢者については、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」と整合性を図りたい。

○(戎屋委員) 高齢者に対してのアンケートも計画しているのか。

●(廣瀬主査) アンケートは、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定の際にも実施していると認識している。

○(戎屋委員) 予防医学ということも考えると高齢者の医療費という問題もありますし、そちらの方にもシフトしていただけたらいいかと思う。

●(廣瀬主査) 第2次の計画においては、各分野でライフ別ミッションを設けていて、高齢期の健康についても示している部分がある。第3次計画においてもライフステージ別の健康づくりの在り方についても検討したい。

【その他全体を通して】

○(西野委員) 健康づくりは、色々な方面からの取り組みが必要だと思う。自分は、体育協会の者なので、スポーツを通しての健康づくりということの日頃考えている。本市では、「スポーツ健康都市宣言」を平成9年に宣言している。是非、「スポーツ健康都市宣言」を計画の中に盛り込んでいただけたらありがたい。

●(廣瀬主査) ご意見として承りました。

○(向田委員) 健康づくり推進協議会の中で石狩市の医師会との連携は必須ではないかと思うが、今回も委員の中で医師会の協力がなかったとお見受けしたが、ご協力いただけないものか。

令和4年度 第1回石狩市健康づくり推進協議会

令和5年3月24日(金) 18時30分～

石狩市役所 5階 第1委員会室

○(富木課長)市としましては健康づくり全般における政策の推進にあたっては、石狩医師会の加入ということが欠くことができないと考えており、引き続き委員の推薦をお願いしてまいりたい。

○(金木委員)2,000人にアンケートを送って回収率ほどのくらいか。

●(廣瀬主査)前回行った中間評価のアンケート回収率は、21.1%。

○(上田部長)市で行うアンケートは、30%を超えることはあまりないと記憶しており、20%を超えるとよい方だと認識している。

○(金木委員)石狩市民5万数千人の中で600人というのは、しっかりしたアンケートが取れるのか。

○(上田部長)絶対数を増やそうとしたらアンケートの発送数を増やす必要がある。無作為抽出のアンケートの場合、3割返信があるとよい方という印象。アンケートの回収率を上げるのには、設問数を少なく抑えることや設問が多い場合は字を大きくするなどをしているなどできるだけ回収率を上げるような工夫はしているところ。

○(金木委員)子どもの学校から親向けのアンケートが来ることがあるが、それは、学校から来るものなので必ず返している。学校と連携してアンケートを取るとかの方法を取ると回収率が上がると思った。

○(上田部長)今回のアンケートは無作為抽出で、ある程度年齢層や性別とかがバランスがとれるようにして行う。回収が確実なのは、対面のアンケート。無作為抽出のアンケートであれば、協力してくれる方が限定される。無作為抽出と対面のアンケートを併用すると回答数を増やすことができる。

●(廣瀬主査)今回はデジタルを使っただけの回答なので、回収率が低くなる可能性があることから、対面でのアンケートも検討している。本来であれば、前回と同じ手法を用いなければならないところですが、そのような方法も用いて回答者を増やしたい。

5 その他 (※事務局より説明)

最終評価のアンケートは、8月頃を目途に結果を書面にて報告。結果に対する質問・意見などは、事務局で取りまとめた上、2次計画の最終評価に反映する。また、次回、会議開催は、10月下旬頃を予定。2次計画の最終評価と次期3次計画の素案を示す予定。

6 閉会

令和5年4月20日 議事録確定

石狩市健康づくり推進協議会

会長 八島 絵美